

令和 8（2026）年度第 1 回みよし市こどもの権利擁護委員会 次第

と き 令和 8（2026）年 9 月 2 日（水）

午前 1 0 時から

ところ みよし市役所 2 階 2 0 2 会議室

1 あいさつ

2 議題

（1）令和 8（2026）年度事業について 【資料 1】

（2）職員の不祥事防止と児童生徒・保護者からの信頼回復に向けて（2 0 の
取組）実施状況について 【資料 2】

（3）安心カメラ（防犯カメラ）の運用状況について 【資料 3】

（4）みよし市学校あんしんモデルについて 【資料 4】

（5）こども会議におけるこどもの意見について 【資料 5】

【令和 8（2026）年度事業】

1 周知・啓発

事業	日程	場所等	備考
教員・保護者向け講演会	10月28日（水）	カネヨシプレイス 大ホール	講師：永谷 和之氏 （弁護士、みよし市こどもの権利擁護委員） 他
こどもの権利出前教室	12月2日（水）	緑丘小学校	講師：前田 守彦氏 （こまきこども未来館プロジェクトディレクター、みよし市こども会議ファシリテーター）
	12月8日（火）	南部小学校	
		黒笹小学校	
	12月10日（木）	三好中学校	講師：永谷 和之氏 （弁護士、みよし市こどもの権利擁護委員）
こども会議	7月～3月 （12回開催）	市内公共施設	主なテーマ 市長教育長との意見交換会 子ども会まつりへあそび場ブース出展 こども会議交流会の開催

職員の不祥事防止と児童生徒・保護者からの信頼回復に向けて（20の取組）実施状況

令和8年7月30日

みよし市教育委員会

本市で相次いで起きた教員による不祥事を受け、市教委・校長会は、当該校のみの責任を追及するのではなく、市内12校が自分事として捉え、教職員の不祥事防止と児童生徒・保護者からの信頼回復に向けて取り組んでいくこととしました。みよし市小中学校校長会と市教育委員会が連携し、「チームみよし」で児童生徒が安心して活動でき、保護者が安心して児童生徒を送り出すことのできる学校づくりをめざして、以下の5点（20項目）について取り組んでまいりました。

その取組の令和8年度の進捗状況について、市内小中学校の状況をご報告します。

1 基本的な服務規律の遵守**（1）市内全教職員の意思統一・メッセージの保護者への配信**

- ・ 本案の内容を【校長会・市教委】連名で、きずなメールによって保護者に配信する。**配信済み**
- ・ 不祥事防止に向けて、今後も有事の際に捜査等、当該校の児童生徒への心のケア、教職員の対応に関する情報を12校の校長で共有する。**毎回の校長会議で継続中**

（2）各小中学校での取組

- ・ 令和8年度も、引き続き各校で、市内全教職員が、児童生徒の人権と尊厳を守る立場であることを常に自覚し、法令や教育委員会の指針等を厳守することを、4月に確認済み。また、わいせつ行為や盗撮は犯罪であること、教育活動の前提である児童生徒や保護者との信頼関係を根底から覆す重大な非違行為であること、懲戒処分、刑事処分の対象となることを認識するよう徹底して呼びかける。**市・県からの通知があるたびに学校内で実施継続中**
- ・ 教職員全員に、市教育委員会から配付される「児童生徒の安心安全確保のためお願い」の内容について十分理解したうえで、児童生徒、保護者の安心・安全と市内教職員の覚悟を表すため、「安心・安全のための意思確認書」の提出を求める。**新たな教職員に提出・確認を継続中**

2 盗撮行為防止のための具体的対策**（1）個人で所有するタブレット端末・スマートフォン等の管理**

撮影は学校で決められた機材を使用し、個人で所有するカメラやタブレット端末、スマートフォン等による撮影は禁止し、個人で所有する機材が児童生徒の活動の場には存在しないようにする。**継続中**

（2）撮影機材の整備

撮影機材（楽曲提供を含む）として教職員のタブレット端末を活用する。学校既存のデジタルカメラ（SDカード・各教職員のPCに接続できるカードリーダー等を含む）も補助的に活用する。**継続中**

（3）撮影データの管理

児童生徒が撮影された画像等は、内容は、複数の教員で確認し、学校のSharePointまたは画像用NASで管理し、管理職がさらに確認する。個人で所有する端末に保管したり、無断で校外に持ち出したりしない。**継続中**

（4）教室・更衣室・トイレの点検

始業時・清掃時等、各校でフロアごとに点検時刻と点検者を決め、定期的に点検を行い、カメラ

等の不審物がないか確認する。また、盗撮の温床となり得る荷物等の放置をしない。継続中

(5) 学校HPの運用管理

学校が運営するHPを再確認し、写真等が悪用され、児童生徒が被害に遭うことを予防する。

パスワード設定等でプロテクト済み

(6) 更衣室等の点検・修繕、防犯カメラの再配備【市教委と連携】

- ・各校プール付設の更衣室を点検し、外部から覗くなどの行為ができないよう修繕する。修繕済み
- ・小学校では教室や少人数教室を活用して着替えをしている場合がある。廊下側をふさぐなど、外部から覗くことのできない環境づくりを進める。継続中
- ・中学校の更衣室が教室近くになく、活用しづらいという現状がある。先述の小学校と同様、教室を着替えに活用する場合は、同様の対応をとっていく。継続中
- ・防犯カメラの配備を確認し、必要な箇所があれば再配備していく。安心カメラ設置・運用中

3 わいせつ行為防止のための具体的対策

(1) 個別対応時の配慮

- ・児童生徒との個別面談では、できる限り複数の教員で対応する。それが不可能な場合は、扉を締め切った状態にせず、面談を行っていることを他の職員に周知するなどして密室の状態になることを避けるとともに、被相談者との間に適切な距離を確保する。継続中
- ・通級指導においても同様に密室を避け、適切な距離を確保するとともに、指導・支援の妨げにならない配慮をしつつ、四役を中心にさまざまな教職員が入室できるようにしておく。継続中
- ・校内フリースクールについては、周りの眼が心配な児童生徒のために教室を確保しており、オープンな場にできないという実情がある。本人・保護者の理解を得たうえで指導・支援を進める。本人・保護者の希望があれば、タブレット端末でフリースクール内の様子を録画撮影するなど取り組むこととする。継続中

(2) 私的連絡の禁止

- ・自校の児童生徒や卒業生との私的な電話・メール・SNS・アプリケーションを介したやり取り、保護者との教育上必要なやり取り以外の連絡は一切禁止する。継続中
- ・部活動の連絡は、絆メールまたは部活動アプリを活用して行う。継続中

※部活時にスマホ使用の場合は、カメラシール対応継続中

(3) 児童生徒の心を傷つける身体接触や性的な表現等の禁止

児童生徒の心を傷つける身体接触や心を傷つける性的な言動等については、各校で、必要な研修を実施したうえで、厳に慎む。身体接触については、安全確保や生活介助、適切なコミュニケーション等に限定し、相手の気持ちに十分配慮した上で行うよう徹底する。継続中

(4) 管理職への報告義務

- ・万が一、教職員の不適切な言動や身体接触により児童生徒の被害が疑われる場合は、速やかに管理職へ報告する。継続中

4 児童生徒への啓発と支援体制の整備

(1) 相談窓口の周知・学校との連携

- ・校内の相談窓口のなる教職員（心の教室相談員、校内心の相談担当教員等）がいることを再度児童生徒、保護者に示し、「何か心配に感じるものがあったら、相談窓口の教職員や担任、養護教諭をはじめ、どの先生でもよいから相談する」「友達から相談を受けたり、いつもと違うと気に

なったりした場合は、迷わず先生たちに相談する」ことを児童生徒に周知する。**継続中**

- ・外部機関等の相談窓口について、改めて児童生徒・保護者に周知し、相談があった場合は、学校と連携して対応する。**継続中**

(2) 異変への迅速な対応

児童生徒に対し、更衣室やトイレに普段と違う物が置かれているなどの異変に気付いた場合は、直ちに教職員に報告するよう指導する。**継続中**

(3) 教職員、保護者、児童生徒へのアンケート等の実施

- ・保護者、児童生徒の現在抱えている不安についてアンケート調査等を実施し、市が設置するプロジェクトチームによる対応策を作成し、実施する。**P Tは実施済み**

アンケート年2回実施予定(9月・2月)

- ・教職員の抱える不安について把握し、自信をもって堂々と児童生徒の指導に当たれる環境をつくる。**継続中**
- ・9月以降も、現在各校で実施している「いじめアンケート」、教育相談、日常の会話等から教師の言動や行動で嫌な思いをした子どもを把握する方法を、校内で検討し実施していく。**継続中**

(4) 毎月の職員会議でのチェック・教職員との定期的な面談

- ・県教委から示されたチェックリストや、本案の実現を確認するチェックリストを、各校で毎月実施している職員会議等で活用する。**継続中**
- ・教職員と管理職の定期的な面談を行い、教職員の抱える問題を把握し、課題解決に向けて共に考える、教職員一人一人の持ち味を発揮できるように努める。**継続中**

(5) 毎月の校長会議でのチェック・各校への支援体制づくり

- ・各校の取組を、毎月、校長会議で確認するとともに、どの学校も校長が中心となって不祥事防止に向けた取組ができるようにする。**継続中**

5 児童生徒を大切に活動の推進

(1) 児童生徒が主人公となる授業づくり・学校行事

学校が児童生徒に安心して成長できる場と感じられるよう、各校がこれまでも取り組んできた児童生徒主体の「学び合い・異学年交流によるつながり」を重視した授業づくり学校行事の実現に努める。**継続中**

(2) 多くの目で児童生徒を見守る体制づくり

- ・各校がこれまで取り組んできた「子どもを語る会」等での情報共有に加え、全教職員が全校児童生徒一人一人の担任であると意識し、児童生徒を見守っていく。**継続中**
- ・学年部などを中心に、教職員が互いの指導・支援について共通理解を図り、教職員が孤立することなく互いの取組を支え合う環境づくりに努める。**継続中**
- ・各校に配置されたSC、学びの森・専門相談員との連携をさらに進め、一人一人に合った指導・支援ができるよう努める。**継続中**

(3) 開かれた学校の推進

- ・授業参観や地域学校協働活動における学校支援ボランティア等、保護者が来校する機会を設定し、児童生徒が安心して学校生活を送っていることを参観していただく。**継続中**
- ・(1)(2)の各校での取組を、これまで以上にHP、学校・学年だより等で周知する。**継続中**
- ・市教育研究会や校内における教職員の研修について、各校HPで確認できるようにし、教職員が研修に努めていることを周知する。**継続中**

安心カメラ（防犯カメラ）の運用状況について

R8 学校教育課

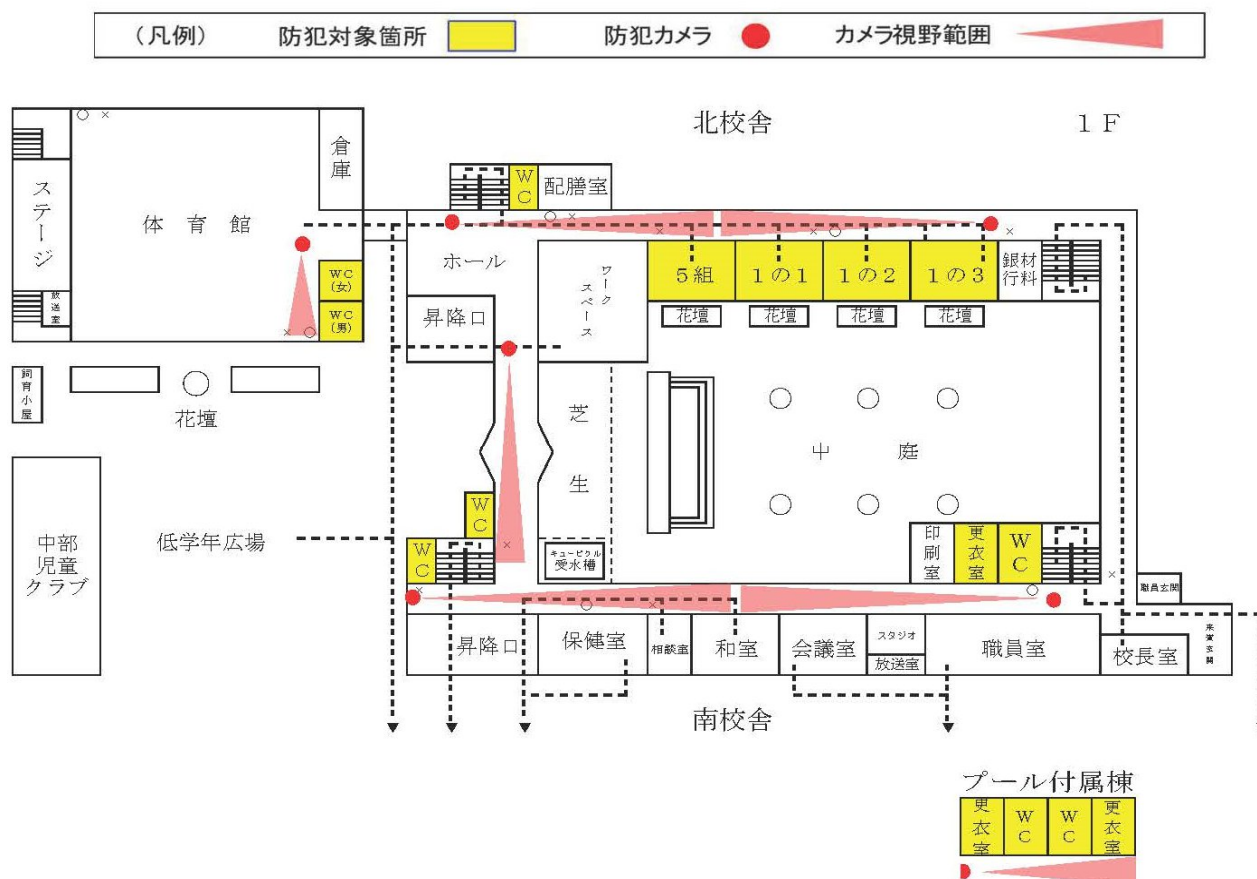
1 目的

児童生徒が安心して学校生活を送れる環境を整備するため、市内小中学校全 12 校に更衣室・普通教室・トイレの出入口を撮影する防犯カメラを設置し、学校施設内での犯罪抑止を図り、安全対策を強化する。

2 スケジュール

	令和 7 (2025)年度						令和 8 (2026)年度
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
工事発注		●					
工期				●	→	→	
使用開始							● →

3 安心カメラ設置例



4 安心カメラの運用状況

(1) 安心カメラの設置台数

小学校（8校） 1 1 1 台

中学校（4校） 8 3 台 合計 1 9 4 台

(2) 撮影データ例



(3) 安心カメラの運用ルール

- ・ 撮影されたデータは、校長室に設置された録画装置に保存
- ・ 録画装置は鍵付きの収納ラックに保管し、鍵・パスワードは教育委員会が保有
- ・ 普段は学校の教職員も見ることができない
- ・ 撮影データの保存期間は30日。保存期間を超えたデータは自動的に消去
- ・ 常時監視は行わず、月1回の動作確認以外では閲覧しない
- ・ 警察の捜査など法令に基づく場合や学校における犯罪やいじめ等の重大な解決のため必要であると教育委員会が判断した場合は、撮影データの閲覧及び提供を行う

(4) 運用後の児童生徒、保護者、教職員の反応

- ・ 児童生徒に不安が広がることを心配していたが、大きな影響はなく、設置前と同じように学校生活を送ることができている。それでも児童生徒から「トイレが映っているか心配」という声が聞かれることもあるため、トイレは映らないことや監視するためのものではないことを繰り返し説明している。
- ・ 教職員及び保護者にも不安は広がっていない。保護者からは「安心できる」という声もいただいている。

みよし市学校あんしんモデルについて

R8 学校教育課

1 目的

養護教諭を新たに任用し、養護教諭による安全保護主任（学校あんしんリーダー）を中心としたセーフガーディングチーム（学校あんしんチーム）を組織して「みよし市学校あんしんモデル」を推進することで、性暴力、いじめ、不登校、虐待、自殺など、児童生徒の人権を侵す全ての事案の発生予防と早期把握・対応に努め、児童生徒が安心・安全・健康に学校生活を送ることができるようにする。

2 安全保護主任の任用について

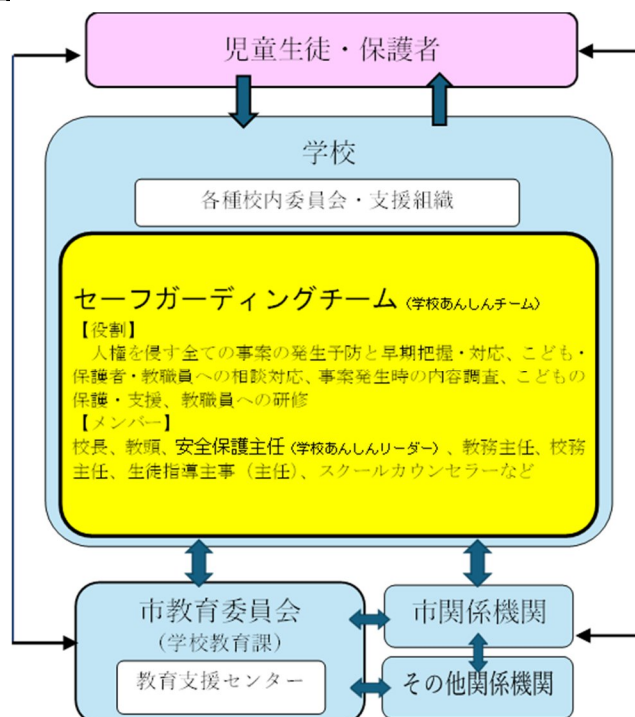
令和 8 年 9 月から市内全小中学校に養護教諭を市費非常勤講師として任用する（1 日 7 h）。学校は、養護教諭を安全保護主任としたセーフガーディングチームを組織する。現養護教諭か新たに配置された養護教諭のどちらが安全保護主任を務めるかは、学校で判断する。

3 セーフガーディングチームの位置づけ

【図 1 参照】。

4 セーフガーディングチームの役割・内容

- (1) 児童生徒が安心・安全に学校生活を過ごすことができるように性暴力、いじめ、不登校、虐待、自殺をはじめ、児童生徒の人権を侵す事案の発生予防と早期把握・対応する。また、児童生徒が前向きに学校生活を送るための対策について検討する。
- (2) 児童生徒や教職員の小さな変化など、各種情報をキャッチして共有し、必要があれば対策を検討して対応する。不登校児童生徒への支援についても積極的に支援対策を検討して支援する。
- (3) セーフガーディングチームによる会議（以後：「学校あんしん会議」という）を毎週開催し、児童生徒の状況について情報共有を図るとともに、チームとして対策を検討し、対応する。
- (4) スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門職との継続的な連携を図って児童生徒を支援する。



【図 1 みよし市学校あんしんモデル】

- (5) 対応すべき事案（児童生徒の人権を侵す事案）が発生した場合は、セーフガーディングチームで対応を検討するとともに、必要に応じて外部機関との連携を図って対応し、児童生徒が安心して過ごすことができるようにする。
- (6) 校長会及び市教委が発出した「20 の取組」を継続的に推進する。
- (7) 包括的性教育（生命の安全教育含む）を推進する。
- (8) こども性暴力防止法にもとづく未然防止、早期把握・相談を担当する分掌の見直しを図る。

5 安全保護主任について

- (1) 安全保護主任は養護教諭が務める。
- (2) 安全保護主任が担当する業務は、以下のものが考えられる。
 - ア 児童生徒の人権を侵す行為の予防対策の計画と実施
 - イ 児童生徒・保護者との面談・相談
 - ウ 教職員との面談・相談対応
 - ※ 定期的（3 か月に 1 回程度）に面接を実施
 - エ 不登校傾向の児童生徒支援（関係機関との連携含む）
 - オ 包括的性教育（生命の安全教育含む）の計画・推進
 - カ 体とこころの学校検診
 - ※ 児童生徒がオンライン上で簡単なアンケートに回答することで、保護者にアンケート結果がメールで届き、その結果を受けた保護者及び児童生徒が、医療機関に相談・受診できるシステム。
 - キ 人権を侵す行為を受けた児童生徒の心身のケア
 - ク 事案発生時の対応（校長の指示の下で）
 - ケ 学校あんしん会議の報告（学校あんしん会議報告書の提出）

6 今後の予定

- (1) セーフガーディングチーム組織後のチームの始動状況及び養護教諭の業務分担等の確認
- (2) 安全保護主任への研修の実施（10 月）
- (3) 安全保護主任による「セーフガーディング」についての校内研修の実施
- (4) 効果の検証（2 月）
 - ・ とりかえしのつかない重大な事態が起きていないか。
 - ・ 児童生徒の人権を侵す事案の発生予防のためにどのような手立てを講じたのか。
 - ・ セーフガーディングチームによる対応件数がどれくらいあったか。
 - ・ アンケート調査等（児童生徒が安心して生活できているか、相談できているか等）がどのようなであったか。

発表者	提案タイトル	想い・背景	提案内容	回答
三吉小学校 6 年	学校の授業でインターネットや SNS の授業をしてほしい	友達が TikTok をやっていて、顔を映していた。コメントで場所を特定されていて、怖いと思った。	・専門の人を読んで、出前授業をしてほしい！ ・闇バイトの求人や、顔出しのリスクなどの事例で危ないことを伝えてほしい。	【市長】 教室や勉強会を実施しているが、まだまだ始まったばかり。資料を充実させたり、SNS やインターネットについて勉強できる回を増やしていきたい。
三好丘小学校 5 年	色んな郷土料理をみんなに伝えて実際に食べてほしい。	前に食べた郷土料理を食べてほしい。他のものも知りたい。他のものも知りたい	・はけんみたいなのも作ってほしい。(市長へ) ・給食にもたくさん出てほしい。(教育長へ) ・デザート郷土料理も出してほしい。(教育長へ)	【市長】 食育ですね！みよし市だと鶏めし。歴史や文化を知ること面白い。鬼まんじゅうは東京にはない。給食体験と絡めても面白い。 【教育長】郷土料理を紹介する機会を1回でも増やせるよう学校に伝える。
天王小学校 6 年	学校の給食をたくさんおかわりしたい。	学校の給食を毎日食べていて、色んなメニューがあってあきない。吉野汁というとてもおいしい給食に出会い、色んな料理を知れてうれしかった。	・たくさんおかわりができるようになったらうれしい。 ・色んな郷土料理も知りたい。	【市長】 年に何回か学校へ行って給食を食べる機会があり、私もおいしいと感じている。そこに郷土料理を入れる工夫をしています。
三好丘中学校 1 年	動植物の通報システムを作りたい。	・自分の住んでいるマンションの敷地にヌートリアが出たから。 ・みよし市にも特定外来植物がいる。豊田市に侵略的外来植物のオオバナミズキンバイが出たから。	・外来動植物にどう対応しているか知りたい。	【市長】 ・外来種オオキンケイギク、クビアカカマキリ、ジャンボタニシがいる。そういったもの駆除することは大切。 ・生活環境課に通報すること、遭遇した時の対応法をわかりやすく伝えていきたい。
三好丘小学校 6 年	みよし市で「ねこを保護し隊！」を作してほしい。	・車にひかれた猫を見て悲しくなったから。 ・猫がめっちゃくちゃ好きだから。	・「ねこを保護し隊！」を作りたい。 ・みよし市の会社でアプリ・マップを作れる会社はありますか。	【市長】 ・保護猫をマップ化したアプリを作れる会社があるかはわからない。みよし猫の会というボランティア団体が、頑張って、野良猫を保護したり、避妊去勢手術をしたりしていることで減ってきた。
中部小学校 6 年	野良猫や野生の動物で害があるものは保護するか駆除してほしい。	登下校中に野良猫や野生の動物と出くわし、危ない思いをした。 車で引きそうになったり、農作物を荒らされたりして危険。	野良猫を保護したり、駆除したりする条例を作る計画があるか聞きたい。	【市長】 私の家の近所でもタヌキやキツネが出る。保護を進めていくことに加えて、イノシシなど食物被害を出すものは罠を設置して駆除を行っている。わかりやすくまとめて発信していく。

三好丘小学校 5年	プレイパークの回数を増やしてほしい。	遊び場が減っている中、楽しませようとしていることにひかれたから。	・プレイパークの回数を増やしてほしい。 ・火を使えるようにしてほしい。	【市長】 みよし市周辺には3ヶ所あって、それぞれ特徴が違い面白くて人気がある。市外で人気があるものは市が運営を委託しているものもあるから、みよし市でも考えていく。公園には規制があって火が使えない。なんとかできる方法はないかと場所や方法を考えているので、これから実現を目指して続けていく。
三好丘小学校 5年	こどもタクシーを作してほしい。	イオンに行くのに1時間もかかるから。 熱中症で危ないから。 さんさんバスだとすぐに帰れないから。	・さんさんバスみたいに1回100円で乗れるタクシーを作してほしい。 ・ガソリンは税金かサブスクのようにする。 ・親が心配しないようにGPSをつける。	【市長】 実証実験をしているところ。来年度は範囲を広げていく。多くの人が使いたい時間帯や目的地は傾向があるので、効率的な方法を考えていく。さんさんバスを子どもを対象に無償化することを目指しているが引き続き考えていく。
三好高校 3年	道を安全に通れる道にしてほしい。	・自転車での転倒や事故。車体への損傷を未然に防ぎたいから。 ・法改正され、自転車は車道を走らなければならなくなったが、あまり整備されている印象がないと思ったから。自転車が車道を走る際、車が自転車を抜く瞬間スレスレでヒヤリとし、車も自転車を避けるのは怖いと思うから。	法改正に準じた道路開発を検討、実際にされているのかについて聞きたい。	【市長】 みよし市内の道は確かに狭い。道幅の拡幅ができるところは、広い道路にできるように整備をしていきたい。また、自動車専用道路を通学路などに整備していきたい。
三好丘小学校 5年	こども創造劇場を作してほしい。	違う年齢・学校の人と協力できて楽しかったから。学校では体験できないことができる。	こども創造劇場を作って、みよし市でも劇をしたい。色々な体験をしたい。	【市長】 すぐには回答できないが、場所や一緒に協力していける人をまず調べる。時間はかかるかもしれないが、実現に向けて動く。 【教育長】 学校で劇をやる学校は2校に減ってしまった。少年少女合唱団など世代を超えて活動する団体もある。何かできることがないか考えていく。

三好高校 3年	大学生の医療費の補助をしてほしい。	・大学生は授業料や入学金をはるかに高く、私立では一年間で100万円ぐらいかかってしまうから、少しでもお金の節約ができるようにしたいと思ったから。	大学生の医療費を補助してほしい。	【市長】 医療費のことを心配して、受診控えをする実態もある。みよし市は高校生まで無償化の範囲を拡大し、大学生世代に対しては、医療費の高くなる入院を無償化にしている。これは、みよし市出身の子どもが東京の大学へ行っている場合も対象としていて、全国でも珍しい。これ以上範囲を広げることは財政負担とのバランスもあるので、すぐに答えることは難しいが医療費の負担軽減のより良い形は考えていく。
三好中学校 1年	授業中は静かにしてほしい。	生徒が授業とは関係のない話をしていて、集中できない。 先生が注意して、授業が止まり、何の話をしていたかわからなくなり困ってしまう。	・授業中にうるさくて集中できなかったことはあるか？あるならどのような気持ちになったのか。 ・うるさくならないためにどうしたらいいか聞きたい。	【教育長】 とても大切なことであり、先生たちも困っている。みんなが決めたグラウンドルールみたいなものをクラスで作ることは大切。学校の先生たちに伝える。
三好高校 3年	段差をなくしてほしい。	道が狭く、事故現場をよく見かける。でこぼこで細いタイヤは特に危ない。車道を走ろうとしても車との距離が近くて安心して走ることができない。	細い道を中心に整備してほしい。 特に雨の日は道が滑るので危ない。	【教育長】 確実に伝えます。明知口から上がってくる道はとても狭い。自分が子どものときにこども議会でもお願いしたが未だに変わっていない。声を上げ続けていくことが大切だから、諦めずに要望してほしい。
三好高校 3年	街灯を増やす。	下校中暗くて怖かったから。	伝えたいことは街灯を増やすこと。	【教育長】 市長へ伝えておく。地域から市に要望するという方法もある。行政区の区長さんに相談する方法もあるのでお願いするといい。
天王小学校 5年	学校のプールに屋根をつけてほしい。	雨が降ったり、暑さの影響で1, 2回ぐらい授業が中止になった。テストのために練習ができなくて、泳ぎが上手な子しかテストに合格できないのが嫌だ。屋根をつければ雨もしのげるし、直射日光を防いで暑さもおさまる。	・現在実現している小学校はあるか。 ・やるとしたらどれくらいの時間と費用がかかるか。 ・屋根をつけるデメリットはあるか。 ・つけることは可能か。	【教育長】 昔プールの半分ぐらい屋根をつけて温度の違いを調べたことがあるが、あまり違いがなかった。学校は授業変更できるから、そういうことも考えるよう学校に伝える。
南中学校 1年	学校での自転車通学ルールを改正してほしい。	・カヌー部は自転車の指定がなくてもいい、夏休みの部活動は申請すれば自転車通学OKなのはなぜか。 ・	3年生で受験勉強をするときに学校と家の距離が2キロ以上の人早く家に着くことができ、勉強時間が増えるが、1.9 キロの人がその間は歩いている。	【教育長】 昔はもっと部活動が盛んで、日没の30分前を下校時間にしていた。その子たちが間に合うように2キロという距離が決まった。今は下校時間が早いから、本当は歩いて帰る子が増えてもいいかもしれない。ルールの見直しの時期だが、ぜひ自分たちで声をあげてほしい。 自転車は安ければいいわけではなく、頑丈さもとても大切で、昔はみんな統一だった。そういうことも考えてほしい。

中部小学校 5年	学校で子どものレベルに合わせた指導をしてほしい。	算数の授業が簡単で暇になってしまうことがある。早く終わると他の子に教えることになっているが、騒がしくなってしまう。「教えてー教えてー」とねだられるのもいや。	・学校でレベルにあった指導をしてほしい。 ・学校の授業のレベルが自分に合わなかったことがあるか聞きたい。	【教育長】 学校では個人に合わせた指導ができるように、各学校で研究している。タブレットで先の内容を予習、過去の内容を復習できるようになっているからうまく活用してほしい。
三好中学校 1年	平和学習に注力を！！	「みよし市中学生平和学習広島派遣事業」に参加した際、平和公園内の施設の見学や、被爆体験講和の受講をし、「実際の姿」を知れたため、自分の中で戦争や原子爆弾、平和に対する思いが変わった。特に、被爆体験者の方々の核兵器拒絶への強い思いを感じた。その思いを今、生きている僕たちが継いでいかなければならないが、現在のみよし市は、広島派遣へ参加した子以外が、深く知る機会があまりない。	・「実際に見ること・聞くこと」が戦争について深く知ることができる考える。 ・みよしの小中学生、全児童、生徒に被爆体験講和を受講させてほしい。 ・戦争や原爆の悲惨さが、さらに知れる授業をしてほしい。 より戦争への意識の高い「みよし市」をつくる。	【教育長】 平和式典には本当は小中学生にも出てほしかった。秋に丘中に被爆ピアノがきて、被爆体験の話を聞く平和体験をするので、楽しみにしていてほしい。
三好丘小学校 5年	学校でのモノヅクリを促進してほしい。	いつもの授業では得られない「達成感」「発見」「成長」「想像力」などがやしなえると思ったから。それらは、将来の就職にも役立つと考える。モノヅクリによって得られた知識でより良い仕事(給料の高い仕事)につきやすくなると考える。	学校の教育にもモノヅクリの時間を設けてほしい。学校は空き箱や紙を用意し、家からも使いたい材料を持ってこれるようにして自由に作れるようにすること。	【教育長】 素晴らしいことだと思う。学校では生活の時間があったり、理科の単元も増やしている。放課後子ども教室で学べる機会を作っているので、ぜひ積極的に活用してほしい。発明クラブの実施をお願いしているが、参加者が少なくて風前の灯火。
天王小学校 6年	学校に自習室を作ってほしい	学校の授業がうるさく、自習もとてもうるさい。	1 対1の授業ができたり、分からないことを教えてもらったりできる。好きな時に好きなようにやる。定員は1～5人までで、申し込むときに何をするか伝える。	先生たちから「自習中に取り組むこと」の指示は出しているが、先生がいないとできないことが多い。みんなで生活する上で大切な「思いやり」を大切にしなければいけない。 精神的に教室にいることがつらい子どもたちへの自習室はすべての学校で用意している。みんなは思いやりをもって自習ができるようなみよっこになってほしいし、そういうことを教えられる先生たちにしていきたい。